

ジャックの樹新聞 蛇淵キャンプ場1泊2日の旅♪ H25 8月7日～8月8日

今夏第3グループ目のジャックの樹、夏のキャンプ。

今回は、「みやこ町立蛇淵キャンプ場」へ行ってきました。

このキャンプ場は、ジャックの樹のキャンプで、2年前の夏から利用させていただいているキャンプ場です。ジャックの樹の活動等に理解を示して下さり、毎年とても良くして頂いております。山間の素敵なキャンプ場で、夏になると、日帰りも含めて川遊びやバーベキューを楽しむ人で賑わいます。そんなキャンプ場で過ごす一泊二日の旅の様子を存分にお伝えできたらと思います。

今回の参加者は、小学生一名、中学生一名、高校生三名。それにジャックの樹スタッフ三名を加えた全八名で臨みました。

キャンプの面白味を知っているメンバーなので、みんな笑顔での集合になりました。出発時も、手を振りながら

「いつてきまーす♪」と元気いっぱいでした。

車内では歌を歌ったり、「冗談を言い合ったり、あるいは今日の参加の気持ちを話し始める人もいました。ワクワク感をそれぞれで表現しながらのドライブとなりました。賑やかではあるけれど、落ちついた雰囲気もあり、私たちスタッフもホッカリなるような時間を共有しました。



出発して一時間程度車を走らせキャンプ場へ向かう途中のスーパーマーケットで、食材の買い物です。

買い物の場面では、マナーなども求められますよね。楽しく買い物をするのももちろん大切ですが、「自分さえ良ければ」という気持ちでは人と関わっていくことは出来ません。ジャックの樹が日頃のプール指導で行なっているのは、そのミニバージョンと言ったところでしょう。「プール以外の、実際の地域の中でも、自分の気持ちと相手の気持ち

があることを考え、バランスを取りながら行動をしよう」というのが、買い物の場面では求められるものだと思います。

メンバーはこちらのそういう思いにもしつかりと応えてくれました。買い物カゴが重くなってきたら、手伝って持ったり、カートが通路の邪魔になっていたらちよつと脇に避けたり、店員さんに頼みごとをしたり…。

買い物のお決まりになっている「頼んでいないもの」もかごに入っていたというおまけエピソードもありました☆が(笑)楽しい買い物となりました☆



さあ、買い物を終えたら一気にコーナーまで車を走らせます。

「ページに着いて一息入れて、いよいよキャンプ開始です…！」

まずは、みんなでアート活動に取り組みます。毎回、参加メンバーに合わせたアート活動を行うのがジャックの樹のキャンプ恒例となります。

今回は、事前に中心に穴を開けておいた白い皿へ、アクリル絵の具を使って絵付けを行いました。

直に皿の上に数色を乗せ、色を混ぜて行く人もいましたし、単色を筆で取り絵を描いていく人もいました。色使い、描くもの、それぞれ違い「らしい」作品を作り上げる人と、「意外だ」と思わせるような作品を作り上げる人…一人一人全く違った味ある作品が出来上がりました。

絵の具が乾いたところでスプレー式のニスを吹き付け、光沢と保護を施します。それから皿の裏に簡易的な機械を取り付け、表には二本の針を付けたらオリジナル時計の完成です。この新聞を書いている合間にも「部屋に飾っています」とい

うお声を本人やご家族から頂いています。世界に一つの自分時計。部屋にあるとおしゃれだと思いませんか♪

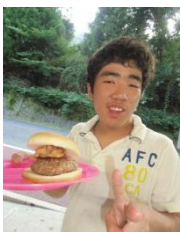
(記:永田 淳哉)



アート後は、みんなで荷物を運び、外のバーベキューサイトでクッキング♪本日のメニューは手作りハンバーガー・ホットドック・焼きそば・コーンスープ。盛りだくさんでしょ(笑)焼きそばの具を切るグループ・ハンバーグ作りをするグループと手分けしてクッキング開始。まずは皆で具材の下準備から♪素材をどの程度の大ききさで切るかを覚えると手際よく調理を進めていく青年達。さ

すが中高生グループだなと思わず感心してしまいました。年少の子は一緒にクッキングをしつつ、そんな青年達の姿を見て、興味津々★青年達は自分が任された事をしつかり行つて、そしてそんな姿を見て年少の子は興味を持ちつつ学んでいくという空間でした。具材の下準備がすむと火をこしハンバーグの成形・スープ作りとさらに工程を進めていきます。それぞれの任された工程をしつかりやり遂げることでハンバーグ・スープが完成★その後はバーベキューサイトで食材が焼きあがるのをゆつくりと待ちます。そんな待ち時間も目の前で焼きあがる光景を見ながらなので、ワクワクしちやいますよね♪そしてハンバーグ、ウインナー、お肉と食材が次々と焼きあがった後は、バイキング形式で特性ハンバーガーとホットドック作りへ♪それぞれ好きな食材をパンに挟んで行きます。野菜と肉をバランスよく挟んでお店顔負けに作り上げますか??というハンバーガーを作ります青年の姿も(笑)それぞれの個性あふれるととてもおもしろいようなハンバーガーで出来上がっていましたよ♪

青年達のご満悦な様子でハンバーガーにガブリとかぶりついていると、そこで「焼きそば作りは僕に任せてくださいー!」と登場したのが永田Tです。青年達の目の前で焼きそばを炒めて、屋台さながらに焼きたての焼きそばをどんとんと青年達のお皿へ。そしてみるみると焼きそばは青年達のお腹へ。まだ食べるんですか??(笑)と聞きたくなるほど好評の永田Tの焼きそばでした♪皆で食事をしているので食事のペー



スも様々。でも自分の食事が終わった後はそれぞれに解散では味気ないですよ。食後もまだ食事をとっている仲間を待ちながらふざけあつたり、お腹いっぱい心の心地よさを満喫しつつ一緒に過ごす空間を味わいました。

皆で食事を囲んだ後は皆で片づけを★初めはみんなで分担しつつ片付けを、でも自分の片づけが終わったら終わつてないところを手伝つて、自分の事だけでなく、周りの事も考えて一緒に最後まで。そんな一歩進んだ協力の仕方が形になっていましたよ。そして夜の時間はそれぞれにゆつくりと1日の疲れをお風呂に入つてとり、年少の子のまだまだ遊びたいよ〜という気持ちに青年達が優しく寄り添ってくれつつ、自然に1人1人と布団に入り就寝へ。おやすみなさい。



ジャックの樹のキャンプは2日間たつぷりと楽しむため、2日目の朝も6時起床と朝が早いです。でも今回のメンバーは6時ちよつと前に自ら起床★朝から楽しむ気満点です♪早めに起きた朝なので、ゆつくりと身支度を整え、散歩に出発!!!外に出ると晴天の青空★散歩コースは森林を抜けて、橋を渡つて、階段を下つてと朝からちよつとした冒険コースです。でも朝一番の気持ちいい空気の中、皆の歩調は軽やかでした。タカタカと階段を下る青年達の姿を見て「さすがみんな若い!!!」と私は思いつつ、ちよつとした冒険を皆で朝から味わいました。



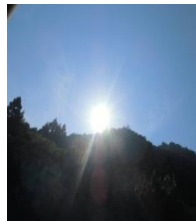
そして散歩でリフレッシュした後は、朝食へ。ごはん・味噌汁・スクランブルエッグ・ポテトサラダ・サラダと栄養満点メニュー♪昨日たつぷり食べていましたが、1日経つてリセットしたんですねと思える姿で皆朝からしつかり食べていましたね(笑)でもスローペースで落ち着いた雰囲気のものんびりとした朝の食卓でした。朝食後は皆で片づけを終え、荷物を持って管理棟に挨拶へ。そして外でのんびりお茶タイム。最後までものんびりとキャンプを堪能しました♪その後は車へ。疲れて熟睡している姿や2日間の気持ちを整理している姿も。それぞれの2日間の思い出を感じながら帰り道でした。

2日間のキャンプで中高生メンバーは助け合いつつ、でもしつかりと自



分の役割を果たすことで、1つの物を作り上げるといった協力の形を、そして年少の子は青年達の姿を見て憧れ、いろんな物に興味を広げる姿がありました。時に教えつつ、教わりつつ、互いに課題を見つめる。そんな風に1歩1歩、影響しながらそれぞれに成長していくんですね。そうやって仲間と成長し合えるキャンプにまた行けることが楽しみみです。

2日間お疲れ様♪素敵な時間をありがとうございました★ (記:鈴木 和加菜)



保護者の方から♪

今年で二回目のキャンプ参加。去年、小学一年生で初参加の時は、親元を離れての初めての宿泊に、大丈夫かな...?と、とても心配しました。でも、帰ってきた葵の姿と、先生のお話をお聞きして、勇気を出して参加させて良かった!と思いました。

今年も葵より大きなお兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒に過ごすキャンプ。人と関わるのが大好きで、何にでも好奇心旺盛な葵ですから、きつと楽しめたことと思います。

普段ではなかなか経験できないことを、キャンプを通して経験し、学ぶことが出来る、このような機会を与えて下さることに、本当に感謝しております。

障がいがあつても、子供たちが自分らしく生き生きと輝ける場が、どんどん増えていく事を願っています。

葵と一緒に遊んでくれたお兄ちゃん、お姉ちゃん。優しく見守って下さる先生方。本当にありがとうございました。

高山葵 母

ジャックの樹スタッフから♪

「キャンプに参加して」

最初は、緊張気味の生徒たちもパピヨンプラザを出ると、先生や友達と話をしたり、景色を楽しんだり、「自分らしく」このキャンプを楽しんでいる姿は、微笑ましく感じるものが出来ました。

食事の準備では、年長者の先輩が年少者たちに気を使いながら、一生懸命に料理に取り組む様子は、とても頼もしく感じる事ができました。これから一つ一つ、いろいろな経験をして、社会に巣立っていく生徒たちが、丁寧に経験を積み重ねていく応援が出来ればと考えております。

ジャックの樹 竹若勇一

大切な思い出♪



「未来への成長を願い

今日を生きる」

ジャックの樹の活動を設立して19年がお陰さまでたちました。

福岡で始めた頃は、5人の子供たちが集まり障がいがあるのに関わらず「地域の中で自分らしく」・・・を念頭にかかげて、子供たちと一緒に取り組んできました。

その為に、1人ひとりにあつた指導を心がけ、楽しい中にも厳しさを持ちつつ、一歩ずつ自分のペースで成長していけるよう。

周囲の方に、障がいの個性を身近に感じ理解してもらおう為にはマナー・ルール・身辺自立等、必要になります。

そして現在は、素敵なスタッフにも恵まれ、また、学生ボランティアさんもキャンプや日帰りに参加出来るようになりました。

今回のキャンプの出発で気付かれたと思いますが、「いつものオヤジがない」と・・・(笑)。

そう！・・・これからの将来像を見据えて、オヤジ抜きで、キャンプをトライする事にしました。

キャンプから帰って来たスタッフそして子供達がみんな逞しくなっ

帰ってきてくれたのです。

ひとまわりもふたまわりも大きくなつてみえました。

私も「これでいいのだ」と納得しましたし、将来の「余暇支援センター」を作る為には個々の力が発揮できるような環境が必要だと思つてい

たからです。
キャンプ・日帰り・プール・絵画・クッキング将来につながる経験になれば・・・と。

将来、どんな人とも心のやりとりができきたり、お互いに助け合つたり、励まし合つたり出来るようになればと願っています。

その将来の為に、焦らず一歩一歩子供達と共に学びながら歩んでいきたいと思つています。

ジャックの樹 主宰・渡辺千秋

「ジャックの樹」ってどんなところ？

障がいがあっても地域の中で自分らしく生きていきたい。そんな普通の願いを叶えるためには、小さい頃から自立するための技術や精神、体力を身に付けることが必要です。その療育活動をサポートしていくのが、地域密着型余暇支援活動組織「ジャックの樹」です。

<http://jacknoki.com/>